4760 IARKETING

イベント再開!会場の動き

June 30, 2020



[SUMMER SHOOT'20] 実行委員長

竹倉 寛敦さん





やわらかな編集でするどく射る

編集工学のなかに、よりダイナミックで創 発的な見方や情報化・編集化に向かうための 考え方として「BTP」の型というものがある。 人が何かを考えたり、連想したり、想起した りするとき、そこには必ず発想の起点にある 「ベース (base)」があって、そこから着点 である「ターゲット (target)」をめざした り探ったりしていく。ベースからターゲット

に向かっていく途中に、頭のなかにはさまざ まなすがたや様子や役柄などが浮かんで、そ れを「プロフィール (profile)」と呼ぶ。こ の頭文字を取って BTP という。

デートするターゲット (妄想) があって も、ベースが誰とかによって、服や化粧のプ ロフィールが変わるような、そんな考え方。 いま、イベントはリアルなのかオンライン

なのか、その両方かという議論があって、そ れはプロフィールのなかの一つの姿に過ぎな いのだけれど、ダイナミックで創発的な段階 にあるともいえる。

プロフィールを追うなかで、ターゲットの 意味合いやベースの足場をずらしたり、相互 的な変化が起こって、ベースも、ターゲット も固定観念にとらわれていたことに気づいた

りする。イベントのベースにはそれぞれに 立っている業界や企業やコミュニティ活動、 もっと大きくいえば、いまの時代にたってい てもいいし、個人的な思いに立脚してもいい。 そして、ターゲットも"売上をつくる"から "活気をつくる""笑顔をつくる"までさまざ まだ。そこはそれこそ、思い切ってダイナミッ クに動かしていくやわらかな編集が必要にな

そんなことを、今回、同じイベントでお世 話になったお仲間の竹倉さんの活動から教え てもらった(本紙8p参照)。



イベント再開!会場の動き

政府が新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき発令した緊急事態宣言を受けた、 施設の使用制限の要請と指示では、集会・展示施設や運動・遊技施設が含まれていたが、 ようやくイベントの場が休業解除で動き始めている。

イベント開催制限の段階的緩和の目安 ステップ3の 7/10 ~ 5000 人規模へ

5月25日の政府対策会議で発表された「イベント開催制限の段階的緩和の目安」では、4つの区切りが設けられ、開催の目安が示された。区切りの期間は以下の4つ。
2020年5月25日(月)~ステップ①
2020年6月19日(金)~ステップ②
2020年7月10日(金)~【移行期間後】(目処)

"収容率"や"人数上限"のど ちらか小さい方を限度とされて いる。「新しい生活様式」に基 づく行動を原則として、手指消 毒やマスク着用、発熱等の症状 がある者は外出等を避けるな ど、基本的な感染防止策の徹底・ 継続が必要とされている。

イベント主催者や出演者は 「業種別ガイドライン」等に基 づく行動、参加者の連絡先把握、接触確認アプリの周知、イベント前後の感染対策(行動管理含む)の呼びかけが必要となっている。ただ、この限度に沿って実際にレイアウトすると、たとえばシアター形式で1,200名入る施設で「人との間隔を2メートル確保する」と168人しか収容できないといった状況で、

イベント開催制限の段階的緩和の目安

<具体的な当てはめ>					
10/10	コンサート等	展示会等	プロスポーツ等	お祭り・野	外フェス等
【移行期間】 ステップ① 5月25日~	【100人又は50%曲 (屋外200人)】 ・前所型数で大声を売する もの、人との間隔を十分報 保できないもの間は情報な 対応、間接際にもご言	【100人又は50%】 ・入場を関係でより、人と の関係を十分機能できない もの明は機能な対応	×	全属的 - 広域的	地域の行家 (100人又は505 (屋が200人)) ・特定の地域ともの。 位を対応人人数数 関するものは様
ステップ② 6月19日〜 ・ステップ①から的 3高時後	【1000人又は50%】 ・開発機関で大阪とかずるため、 人との開発する理解できない もの場合を対象を対象と、なる所に ものは情報を対象と、なる所に	[1000人又は50%] ・人場を思いました人との報 総大学の第2章ない人との報 報告を記	(無観客) ************************************	×	
ステップ③ 7月10日~ *ステップ②からわ *ステップ②からわ	(\$000AXII\$60%)	【5000人又は50%】 ・大阪市の第二次で、人との報報とう意味できないもの時に 報用な対象 ・たいカランバーションを定 (ドボラランバーションを定	【5000人又は50%】 ・部準対策数度、まままじょさ 投合・・割除にかり事等・報 等等の情報であ メルルヤインバーンによる支援 (アルアル)		・特定の地域からには 個を別込み、人類を整 機できるものは等
【移行期間後】 単級状況を見つつ。 8月1日 を日途 ・ステップ目からわ 1点動象	【50%】 ・運動器がなみを用するもに かぶ、最後なイイアインによ さが話	【50%】 ・入場を開発に立て、人との報 報を十分確認できないもの年日 報道ないた。 ・ bars ヤンペーンニュを充足	【50分】 ・燃発対策性度、10年による 対合す・対抗にはてき数字・報 素等の付款機能 ・なめたヤンペーンによる大変	◆ 【十分な問題】 (でされば2 m) ・水油状況を設定と て、利剤	

現実的にはリアル開催には知恵と工夫が必要 だ

イベントガイドライン 団体、会場、関連企業から発行

イベントに関するガイドラインをいち早く 発表したのは、ad:tech tokyo など、広告・ マーケティングの国際カンファレンスを企 画・実施している Comexposium Japan 株 式会社で、一般社団法人ビジネスイベント支 援協会(設立準備中)とともに「安全にビジ ネスイベントを実施するための業界ガイドラ イン」を作成した。その後、会場や企業から も発表されている。

展示会については、日本展示会協会が6月10日に「展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン」を出しており、主催者、会場管理・運営者、展示会支援企業共通で行うべきこと、会期前・会期中・会期後の段階では、上記の立場に追加して、出展者、来場者に促すべき内容が盛り込まれている。

イベント関連団体の発行するイベントガイドライン

発行日	発行元	名称
5/14	公益財団法人日本スポーツ協会 / 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン
5/18	一般社団法人ビジネスイベント支援協会/ Comexposium Japan 株式会社	安全にビジネスイベントを実施するための業界ガイドライン
6/3	公益財団法人大阪観光局	感染症拡大のリスクを抑え、MICE を開催するための主催者向けガイドライン
6/9	一般社団法人日本コンベンション協会	【暫定版】「新型コロナウイルス感染症禍における MICE 開催のためのガイドライン 第 1 版」
6/10	一般社団法人 日本展示会協会	展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン





β版の情報掲載開始!

http://eventbuzzle.com

** 集客・運営ツール ma

/ ノベルティグッズ novelty good

■ EVENT 01 note place note

白にこだわる note のリアル



note ㈱ ユーザー コミュニケーション **金子 智美氏**



文章や写真、動画などのコンテンツを投稿できるメディアプラットフォーム note が 6月16日、外苑前にイベントスペース「note place」をオープンした。インターネット上で展開するサービスがリアルの場をもつ意味について、金子さんは「note のミッションは"だれもが創作をはじめ、続けられるようにする"こと。そのためにはクリエイターや企業とファンの交流はとても大切で、その方法はウェブ上とは限らない。リアルの場でしか感じとれないその人の雰囲気がわかり、対面することでより深い絆が生まれる」という。

note place 開業前にも同社オフィス隣のスペースでは多くのイベントが開催されていた。「創作を続けるには読んでる人のリアクションが大切というのが弊社の文化」(金子さん)。

自身もブロガーであり、企業の SNS 活用を支援している徳力基彦さんも note にプロデューサーとして参画しており「相手の顔が見えることが重要。1万ページビューより、一人に『記事を読みました』と言われたほうがモチベーションになる。指標が数だけだと、投稿しなければ、読者を増やさなければと義務のようになってしまう。長く続いているオンラインサービスはデジタルだけでなく、相手の顔がみえる」と、Face to Face のコミュニケー

ションの大切さを強調する。

note place のこだわりポイントは「白」。さまざまな白いものを集めて会場を白で統一している。料理家が「こんなものまで白に!」と驚くほど。電気コードにも白いカバーを施すこだわりようだ。

これは、"真っ白なノートに作品をつくっていく"、という note のサービスの世界観をイメージしたもの。「会場のどこを映してもnoteっぽく見えるといいな」(金子さん)

もうひとつはnoteの多様性を表すこと。ユーザーに note のイメージを聞くと、「マンガ」、「エモいストーリー」、「マニアックな技術の話」「ワークショップのレポート」など同じメディアについて話しているとは思えない。広範囲なジャンルのクリエイターが投稿しており、個人個人がどのようなきっかけで、note に遭遇したかによって、その印象は大きく異る。イベントスペースの利用は、note ユーザーであることすら条件になっていない。配信スタジオ、キッチン、ラウンジなど、自由度の高いイベントスペースをどう活用するかで、まったく違うイベント会場に見えるだろう。

オンライン・オフラインはじめ、さまざまなバリエーションに対応する note place。「たくさんのイベント関係者に使っていただいて、こんなパターンもあるんだ、というバリエーション。オン・オフ同時にできるので実験場として使ってほしい」と金子さんは語る。

CNFERENCE 01 コングレ



国際・学術会議運営 (PCO) 事業のほか、 MICE 施設の指定管理業務、コングレスクエ アの名称で展開する自社カンファレンスなど、 約90の施設運営も手がけている(株コングレ。 緊急事態宣言により、各施設の所在する自治 体の方針にしたがい、営業自粛、臨時休業を 行った。緊急事態宣言が解除された現在も、 株主総会などは実施されているものの、多く のイベントが中止・延期・オンラインでの実施 となっている状況だ。

政府が発表したイベント・展示会の開催制限の段階的目安は、いずれの段階でも収容率を50%以内としており、コロナ前と同じような規模と費用感でのイベント開催は難しい。そこで、コングレスクエア日本橋では、7月と8月限定で、安心して開催できるよう「会場費50% OFF ソーシャルディスタンス推進キャンペーン」を実施している。利用者は今までと同じ会場費で、倍の広さの会場を借りられるため、十分な感染対策を行えるメリットがある。大阪のナレッジキャピタルコングレコンベンションセンターでも、「施設を改めてオープンする気持ち」(大津さん)で「再スタート割引」と銘打って同じく7月と8月限定で、会場費50% OFF の特別料金を適用している。

料金面だけでなく、イベント開催時の感染 防止のため、下記の「With コロナ Safety MICE Solutions | を提供。コングレは一企業 としてガイドラインは策定していないが、所属 し自社が事務局をつとめる日本コンベンショ ン協会(JCMA)のガイドラインに準拠した、 主催者支援策を提供する。

- 1. 接触の回避 顔認証システムのチェックイン、参加証自動発券、同時通訳受信用アプリ、オペレーターとの接触回避
- 2. 密集の回避会場予約・入退室チェックシステム、混雑状況閲覧システム、待ち列指定サイン、中継会場ライブ配信
- 3. 飛沫感染防止質問用アプリ、アクリルボード・ビニールカーテン設置
- 4. **感染者対策**サーモグラフィ、参加登録システム

また、オンライン開催・ハイブリッド開催をサポートする「MICE virtual」のソリューションを提供。学会開催などにむけ、参加者登録、オンライン決済、発表スライド閲覧、インタラクティブセッション、オンデマンド配信、参加証明書発行、質疑応答、e ラーニングなど、PC やスマホでの参加価値を高める。

7月3日には新施設のコングレスクエア羽田も開業。約600㎡の多機能ホールや最大240㎡のカンファレンスルームを備え、空港からの好アクセスと宿泊施設京急EXインと直結するなど、企業の宿泊研修をはじめ、周辺の最先端テクノロジー施設関連の研究会などの需要が見込まれる。





■ Exhibition 01 インテックス大阪

施設基本使用料を半額に



BtoB 大規模展は「関西ホテル・レストラン・ショー」から

一般財団法人 大阪国際経済振興センター 常務理事 八木 誠氏



6月18日、大阪市は「大阪から MICE を 再起動」のメッセージを掲げ、日本最大級の 国際展示場インテックス大阪の施設基本使用 料を、原則半額にすると発表した。期間は7 月から2021年3月末まで。

管理運営を行う一般財団法人大阪国際経済振興センター常務理事の八木誠さんは、市の発表5日後のインタビューで、主催者からの反応については「半額のインパクトは大きく、関東で中止となっている催事でも大阪では開催をする、或いは、ソーシャルディスタンスを守りながら開催ができる広いスペースを求める声があったものの利用料と折り合わなかった。今回の発表で1000人以下の規模のビジネスマッチングやピッチなどの問合せが増えている」と、再開の後押しになっていると話す。

3月から6月まで、60件以上予定していた 催事予定は開催ゼロ。インテックス大阪では、 従来よりある特別割引と今回の市からの原則 半額免除と合わせ、感染症の拡大防止対策などの新たな負担の軽減も考慮し、安心安全な環境づくりで MICE 再開を支援する。

インテックス大阪でのイベント再開は7月10日以降から。日本展示会協会、大阪観光局のガイドライン等を遵守しながら、物販会やコミケ、就活イベントなどが実施される。コミックシティは b2-online 入場認証システムの運用で会場ロケーション、時刻を記録、また大阪コロナ追跡システムの利用も促進する。BtoBの大規模展示会としては7月29日から「メンテナンスレジリエンス OSAKA2020」「関西ホテル・レストラン・ショー」が開催。参加者には来場日時を一時間毎に事前登録してもらい入場口でも来場者をカウントするなど事前と現場で、二重に密を避ける対策を施す。

八木さんは「今後、新しい形での見本市・イベント・展示会づくりの必要がある。会場もリアルにプラスしてオンライン開催への対応やデジタル技術を組み合わせ、会期以外の時間的・空間的"間"をつなぐ存在に変化しなくては。安全安心の環境づくりと合わせ、この1年は試行錯誤していきます」と語った。

主催事業のオンライン化も推進

9月に開催予定だった自主企画事業「2020 浙江省輸出商品(大阪)交易会/大阪国際ライフスタイルショー」を、12月15日~17日に延期。リアル開催を補完する形で、オンラインビジネスマッチングを前倒しで開催し6月から毎月商談分野を変えて展開中だ。6月の商談は「アパレル&服飾雑貨」(6/23~30)。 23日の初日は出展者11社・40件のマッチングが行われた。同時通訳者を交え、Zoomでの商談を実施している。7月から「めがね」、「ホームテキスタイル」、「生活雑貨」を順次実施する予定。



Exhibition 02 Aichi Sky Expo

感染症拡大が、強みわかる機会に



感染症と共存した 安全なイベント開催を

愛知国際会議展示場(株) セールスマネージャー 山本 茂氏



昨年9月に開業した愛知県国際展示場 (Aichi Sky Expo)では、新型コロナウィルス の感染拡大により、7月までの全ての催事が中止となり、8月以降の催事の開催に向け準備をしている。今年12月までの利用許可済みの催事のうち、50以上の催事が中止されており「稼働率や経営への影響は計り知れないインパクトがあったが、緊急事態宣言に伴う休業要請の解除後、主催者から催事開催へ向けた問い合わせが増えている」(セールスマネージャー山本茂さん)。

8月は多くの人数の集まらない催事、9 月にはBtoB商談会が予定されている。 TOKYO2020にともなう、首都圏の会場の受け皿としても期待されている。

約3500台の駐車場を完備しており、密を避

けるため公共交通機関を利用せずに来場できる。また、各ホールの換気システムは、理論値として、約50分で1万㎡のホール内のすべての空気を入れ替えられる性能をもつ。

ハイブリッドイベントに安定した配信環境 を提供する 200MBPS の帯域保障型インター ネットサービス、ソーシャルディスタンスを保 ちながら資格試験を行うのに適した防音設備、 といった新しい会場ならではの高いスペックを もつ設備が、新しい生活様式でのイベント開 催に力を発揮する。

ソフト面でも安全な催事開催のためのガイドラインをいち早く設定し、主催者の催事開催に向けた支援体制を整えている。

「感染症による催事中止のダメージは小さくありませんが、Aichi Sky Expoの充実した機能が、感染拡大を防ぎながらの催事開催というニーズに応えられることがわかりました。展示場で開催される催事を通じて、豊かな地域づくりや地元産業へ貢献していくためにも、GL イベンツ社との協力体制や同社のノウハウも活かしながら、主催者へのできる限りの支援をしていきたい」と山本さんは意欲をみせる。

展示会・イベント再開に向けて

各種ガイドラインに基づきながら、展示会・イベントの再開を目指す動きが始まっています。(中略)主催者や出展者の皆様とともに、徹底した感染防止対策に取り組み、展示会・イベントの再開を後押ししてまいります。

with コロナに対応した新しい形の展示会・イベントが数多く開催されることを通じて、ここ愛



愛知県知事 大村秀章氏



愛知国際会議展示場株式会社 代表取締役 モルガン ショドゥレール 氏

知から新たな交流やイノベーションが生まれることを期待します。 2020 年 6 月 19 日



私のカワイさも大復活♥

8月31日 イベントの演出・盛り上がりを因数分解 9月30日 イベントは大阪だ!エネルギーが止まらない

10月31日 イベント人材の採り方育で方 11月30日 スポーツ・地域・スタジアム

11月30日 スホーン・地域・スタンアム 12月28日 結局コロナはなんだったのか

広告出稿の問合せはこちら 〉株式会社 MICE 研究所

info@event-marketing.co.jp (担当:田中力)

face to face を科学するイベントメディア

オンラインも強い

EVENT MARKETING

最新ニュースやアーカイブ、 バックナンバーも読めるウェブサイト



特集記事の裏話や イベマケ編集部の 日常がわかるメルマガ



http://www.event-marketing.co.jp Facebook と Twitter もやってます

■ Exhibition 03 東京ビッグサイト

展示会再開は7月下旬ごろか

イベント会場にとってのコロナ禍

コロナ禍とは、2003年のSARS の時を思いおこしても、我々業界にとって、比較にならないくらい大きな衝撃でした。まるで世界中の展示会場から展示会が消えてしまったかと感じるほどです。

また、コロナ禍は、展示会業界 におけるオンラインや仮想現実と リアルな展示会のハイブリット化

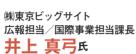
が加速するキッカケとなったともいえると思い ます。



緊急事態宣言後は、施設は開館しましたが、 実際に展示会が開催されるのは7月下旬ごろ からだと思います。

6月8日に感染拡大防止のため、我々ビッグサイトがとる対応や主催者にお願いする内容をまとめた「展示会等における新型コロナウイルス感染防止のための対応指針」を作成しました。今後は主催者の皆様の協力のもと、感染防止対策を徹底し、安全・安心な環境をお客様に提供していきたいと思います。







東京2020と東京ビッグサイト

東京2020が来年2021年に開催延期されることに伴い、施設の貸出休止期間の大幅な変更が生じることとなり、施設ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけしています。

一方で、東京都において、青海展示棟の一年間の使用継続に向けた調整が進められており、一件でも多くの催事が開催できるよう丁寧な利用調整を行っていきたいと思います。

TOPICS 01 梅田サウスホール

予約開始日 9月1日から

2022 年春、大阪の中心・梅田 に誕生する大型カンファレンス施 設「梅田サウスホール」の予約受付 が、2020 年9月1日より開始される (2022 年5月9日から2023 年4月 30日利用分)。

「梅田サウスホール」は、JR 大阪駅から地下道直結徒歩3分・阪神百貨店直上の好立地。大阪梅田ツインタワーズ・サウス内の11階に位置しており、シアター900名・スクール660名収容可能な大ホール(882

㎡・天井高7m)と、シアター140名・スクール100名収容可能な小ホール(180㎡・天井高4.7m)、開放感あるガラス窓で明るくオープンな雰囲気のあるホワイエ(641㎡)で構成され、24時間対応の搬出入用大型EV完備で、効率的な搬出入作業が可能。

利用基本料金 (~8時間) は、土日使用時(催事種別を問わず)・平日の展示会等使用時で、 大ホール 130 万円、小ホール 30 万円、大小一



2022 年春に開業する「梅田サウスホール」の 大ホール(パース図)

括で145万円となっている。

同じく梅田のイベント会場・展示場として実績のあるハービス HALL を運営する阪急阪神エステート・サービス株式会社が運営を担い、経験豊富なスタッフがサポートする。

現在、梅田サウスホール開業準備室 (ハービス HALL 内) では、専属担当者が問合せに対応している。問合せ・資料請求は、06-6343-7800、または https://www.herbis-hall.com/contact.php の問合せフォームまで。

TOPICS 02

ソラシティカンファレンスセンター

「ひじりばし博覧会 2020」開催

御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター (東京都千代田区)が共催する「ひじりばし博覧会 2020」が、7月24日にオフラインで開催される。主催は東京文化資源会議。基調講演には「全国文化創生区 2030 ビジョン:2020年からの再出発」、「『密に交わる空間』をめぐるラウンドテーブルー(上野)歓楽街・繁華街で起きていること、起きうること」といった注目のセッションなど17の企画を展開。



夜の湯島 仲町通り

■ TOPICS 03 白山印刷

「フェイスシールド」にロゴ印刷も

特殊印刷・加工をワンストップで提供する 白山印刷(東京都荒川区)は、6月に「フェ イスシールド」の販売を開始した。

同社ではこれまでイベント向けにクリアファイル印刷やチケットホルダー印刷などを展開してきたが、イベント自粛を受けビジネス展示会最盛期でもある5月は売上にも打撃を受けた。緊急事態宣言解除後、イベントのリアル開催が再開され、政府発表のイベントの緩和ステップ3では7月10日から屋内でも5000人規模のイベントが実施されるようになる。「フェイスシールド」はコロナ禍でのイベントに向けた新商品。

「フェイスシールド」はコロナ禍でのイベントに向けた新商品。素材は再生 PET に防曇加工(曇り止め効果)をほどこしてあり、マスク

「フェイスシールド」 上にロゴを印刷する こともできる



の紐をシールドに通すことでシールドの安定 性にも配慮してあります」

7月には展示会も徐々に再開することを受け、出展者のアテンドスタッフや主催者向け、また飛沫防止のアクリル板の設置がむずかしい小さなスペースの受付など、用途はさまざま。 「フェイスシールド」上にイベントロゴやス

ポンサーロゴの印刷もできる。

●問合せ:白山印刷株式会社 営業企画部

TEL: 048-954-6241 mail: kikaku@hakusan-p.co.jp





自由な形

オンラインとリアルの間 . 展示会の新形式「PHASE」主催

プロデューサー **竹村 尚久**さん SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 / 展示会デザイナー

6月1日から5日の5日間、 SMALL WORLD TOKYOを会場 に、オンラインとリアルの間・展示 会の新形式として「PHASE (フェー ズ)」が開催された。5月25日に政 府が緊急事態宣言を解除した直後で、 イベントについては開催制限の段階 的緩和の目安ステップ1の時期(屋 内では100人の人数制限)。リアルに 開催された展示会としてイベント関 係者も多く訪れ、注目された。

会場問題と職人流出への危機感

「バンバン、どうしてるかな?」 自粛期間中、展示会出展ブースの プロデュースをする竹村尚久さん (SUPER PENGUIN 株式会社代表 取締役/展示会デザイナー)は、現 場で一緒になる設営スタッフの名前 を打合せで口にした。名前の彼は会 場設営をする株式会社 DEWATA のひとりで、バリ島出身のインドネ シア人。2月の展示会の出展ブース 現場以降、イベントが自粛のため中 止となり、顔を合わせなくなってい た。

展示会でオリジナルデザインの出展プースを一つつくるには、SUPER PENGUIN 株式会社のような企画・デザインの会社だけでなく、それを形にする会場設営、運営スタッフ手配、サイン施工、展示台製作、グラフィックデザイン、電気工事、会場演出、タペストリー製作といった専門の会社がいて、出展企業の商品・サービスの販売促進を支えている。「プロや職人の存在は、一般にはなかなか知られていないし、展示会に

出展していたとしても知っているのはごく一部ですが、イベント自粛で多くのプロや職人の仕事がなくなり、 業界を離れていかざるを得ないケースも出てきています」と展示会業界の現状を竹村さんは説明する。

そして、展示会関連企業が受けている打撃は新型コロナウイルス感染症の影響ばかりでない。東京オリンピック開催による会場使用制限、延期による使用制限の延長によって、展示会が開催できず、長期化し、より深刻化している。展示会で中小企業の新規顧客獲得をこうしたチームとともに後押ししてきただけに、危機感は大きい。

「コロナが収束し、開催ができるようになった時、現場をつくりあげる人材・スキルの不足が起こる。今後の展示会のあり方を含めて、大きな変革・早急な対応を必要としている時なんです」と、今回、「PHASE」、という新しい形式での展示会開催へと踏み切ったのが、コロナ対応だけではないことを切実に伝える。

●協力企業の声



▶メイン展示台製作を担当した ビコーズ代表の坪田泰雄さん

「輸送、保管スペース、リユースという機能をもつ組み立て式の展示台という竹村さんからのリクエストで制作・施工に協力しました。2人で5分程度で組み立てることができます。この展示台は今後、販売やレンタルも検討しています」

▶オンライン構築を担当した ビディア代表の酒井統史さん

「今回、コロナをきっかけに動画への抵抗感が少なくなってオンラインでのコミュニケーション設計がしやすくなりました。商品説明用の動画をループで表示しておき、より詳細な商談をする際にはタッチしてZoomに接続するという2段階にしました。」





もうひとつの展示会



タブレット越しに商談する参加者

リアル開催ができない状況が続く 一方で、オンライン展示会の可能性 は高まりをみせている。そんななか、 竹村さんの主催した「PHASE」は、 半分リアルで半分オンラインの"も うひとつの展示会"の提案だった。

今回の開催では、コロナに対して「『4つの視点』から計画を行った」と話す。①開催形式の工夫、②会場設計(レイアウト・展示台の形状等)、③主催者としての基本対策(除菌スプレー・検温等)、④施設としての対策(SMALL WORLD TOKYO)。

会場施設・展示会主催者による二 重対策をして厳重にコロナ対策を実 現させている。コロナ対策をスタイ ルとデザインに落とし込んで、参加 態度をつくる方法は、管理的という よりも機能的だ。展示会の体感と商 談の目的は失われない。

出展者は不在・出品物のみ

開催形式の工夫として、出展者は不在、出品物のみが会場に展示された。来場者は実物の商品をみつつ、直接の対面は避けることができる。今回は全国のこだわりのモノづくりで文具や衣類、革製品といった商品を扱う12社が参加した。

遠隔参加という商談形式

出展者は遠隔参加という商談形式で、自社で待機し、Zoom・電話等で対応をした。参加者は展示台に置かれたタブレットで、商談やより詳しい説明を必要とする際にビデオミーティングか通話でコミュニケーションをする。なかには常時ビデオミーティング状態で接客する出展者も。

レイアウトによる工夫

12の展示台は、2m間隔に6台、 通路幅は4m以上離し、対面に同じ く6台が並ぶ。

展示台構造による工夫

「PHASE」用に製作・改良を重ねた展示台は、幅をあえて1mにして「1人で見る」構造に。展示台の左右からも展示物がみえると密になるため、高さを出して脇から覗き込めないような工夫もあった。

竹村さんは今後の展示会について「コロナ禍で経済活動が低下し市 場は悪化しています。本来、商談型 のBtoB展示会は短期間での受注が可能な場です。そういう意味では、経済活動の活性化に展示会こそ有効な手段ともいえます」と今後は、単純なPRやおつきあい出展は減少し、成果重視の場となると分析する。そこで主催者に求められることは、「『出展のしやすさ』と同時に『成果がでること』」。出展のしやすさとは、もっと自由な形の参加メニューだったり、期間だったり、これまでの展示会の固定観念を捨てて、出展者の経済状況にあった参加の機会を段階

「展示会への参加ハードルが下が れば、主催者にとっても潜在顧客の 掘り起こしにつながり、展示会利用 者の裾野も広がるかもしれません」

的に用意することという。

●参加者・出展者の声

▶日本貿易振興機構(JETRO)企画部 統括審議役(地方創生推進担当) 末廣 徹さん(参加者)

「海外ECサイトに日本の商品を紹介する事業をしており、海外・国内展示会を活用したマッチングもしています。今後、オンラインの商談に移行していくなか、リアルでないと進まない商材もあります。リアルでの展開の仕方や課題などをヒントとして持ち帰りたいと思います」





株式会社ヒロ 取締役社長 大沼 洋美さん(出展者)

「石川県金沢で伝統工芸品をつくって 国内外で販売しています。今回、オンラインでの出展は初めてでしたが、 参加者さんが出品物を手に取ったと きの表情をみられるのはうれしいです ね。売上につながるかどうかはこれか らですが、なにもせずゼロか、一歩 踏み出すかでは全く違うと思って試 みに参加させていただきました」

[PHASE] in SMALL WORLDS TOKYO

会期:2020年6月1日(月)~5日(金)13:00~18:00 会場:SMALL WORLDS TOKYO内

会場:SMALL WORLDS TORY 総来場者数:444 名

プロデューサー 竹村尚久

SUPER PENGUIN 株式会社 代表取締役 展示会デザイナー

運営

SUPER PENGUIN 株式会社 | 全体構成 株式会社ビコーズ | 会場設営・メイン展示台製作・CG 制作 有限会社ビディア | オンライン構築 株式会社フィールドエース | 事務局業務

協力企業

有限会社アートステーション|サイン施工、株式会社アドスペース|展示台製作、株式会社エイティワン|グラフィックデザイン、株式会社光栄電設|電気工事、株式会社ストーリーテリング|動画撮影、東洋メディアリンクス株式会社|会場演出、株式会社 DEWATA |会場設営、堀江織物株式会社|タペストリー製作、株式会社 LIBERTAS444 |展示台製作

TOKYO MOTOR SHOW 2019

FUTURE DRONE ENTERTAINMENT "CONTACT" に

─ 第6回 JACE イベントアワード大賞

(一社) 日本イベント産業振興協会(JACE) は6月12日、第6回 JACE イベントアワードの受賞作品 を発表した。

「JACE イベントアワード選考委員」により、優秀賞 7 作品から選定された「第6回 JACE イベントアワード」大賞・最優秀賞 経済産業大臣賞(日本イベント大賞)は、「TOKYO MOTOR SHOW 2019 FUTURE DRONE ENTERTAINMENT "CONTACT"」に決定。

同イベントは、「自動車展示会」から「未来のモビリティ社会の楽しさを体験する開かれたショー」へ。この変化を浸透させるため、TMSへのイメージを根底から変える象徴的な体験の場、没入型ドローン・エンター

テイメント「CONTACT」を創造したもの。未来のモビリティ社会の主役ドローンを主に、映像、ライティング演出、サウンドにより宇宙への旅(航空宇宙産業の未来)に没入するエンターテイメント体験は、世界的にも

極めて斬新なものになっている。

また、イベント業務管理士による ネット投票で最も得票数を得たイベ ントプロフェッショナル賞には、「え ひめさんさん物語『アーティスト in ファクトリー』」が選出された。



東京モーターショーのオープニングイベントとして、モビリティの未来をドローンや宇宙への旅という異次元で表現した点が高い評価を得た (撮影:本紙編集部)

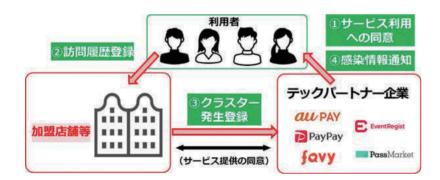
新型コロナ・テックパートナー企業に

―― イベントレジストほか 4 社

東京都の小池百合子知事は6月26日の記者会見で新型コロナ・テックパートナー企業5社を発表した。

「新型コロナ・テックパートナー企業」 とは、 都内民間店舗などで新型コロナ・ウイルス感染症のクラスターが 発生した場合に、利用者の訪問履歴 に基づき、迅速に感染情報を通知する民間事業者主体の「店舗型東京版 新型コロナ見守りサービス」を構築 するため、技術協力をする企業。今 後同サービスは都立施設のほか、民 間店舗にも導入される。

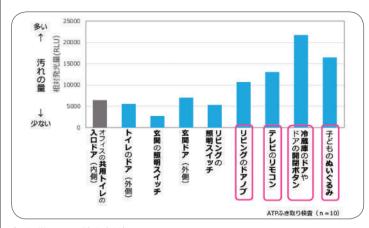
選定されたのは、EventRegist (イベントレジスト株式会社)のほか、au PAY (KDDI 株式会社)、 PayPay (ソフトバンク株式会社)、 favy (株式会社 favy)、パスマーケット (ヤフー株式会社・株式会社一休) の4社。 イベントレジスト株式会社 代表取締 役のヒラヤマコウスケ氏は、「感染リスクと共存するイベント様式が求められる中で、クラスター対策を心配するイベント主催者の支援に少しでも繋がればということで、本業のノウハウを生かした社会貢献として取り組む」と意欲をみせている。



あ 値 観 ま 所 。 (point(0)

#06 「point 0 ×ライオン」

Powered by point 0



(図提供:ライオン株式会社)

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、これまでの常識をアンラーンし、再定義する時が来ている。本当に我々の生活で優先すべき事は何なのか、命より大事なもの、生活や仕事に対する価値観を改めて考え、学び直す時が来た。

緊急事態宣言を意識して「睡眠」・「手洗い」をテーマに point 0 marunouchi ではライオン(株)による 初のオンラインセミナーを開催した。このテーマには、これを読まれている皆さんも関心があるはずだ。今回はこのレポートをお届けしたい。

日本人の睡眠時間は

世界最低レベル

まず、日本人の平均睡眠時間は世界で1位、2位を争うほど短く、約60%の人が睡眠に不満を持っている。また、睡眠問題によって生じる日本の経済的損失は約15兆円と試算され、大きな社会問題にもなっている。

今こそ、生活行動を見直す時

睡眠には①脳と体の休息、②老廃物の排除、③記憶の整理、④ホルモンバランスの調整、⑤免疫系の調整などの役割があり、生活する上で非常に重要な要素であると、ライオン

(株)物井氏は話す。寝不足、睡眠不具合(寝つき不満、浅睡眠、中途・早朝覚醒)は生活習慣病、認知機能の低下など全身に悪影響を及ぼすことが知られている。また、睡眠効率が低いと風邪ウイルスの感染率が、睡眠効率の高い人に比べて5.5 倍にも跳ね上がるという研究報告があるのだ。全身の健康、感染症予防という観点でも毎日行う睡眠が重要だということだ。

また、ライオン(株) 芳賀氏は正しい 手洗い方法を身に付けることが大切 と話す。ウイルスの感染予防には「手 洗い」が重要であることは認識して いても、洗い残しの多い手洗いをし ている人が多く、家の中の意外な汚 れにも要注意だ。

ニューノーマルとは

何に対しても正しく対処するための方法は、子どもの頃に教えられた基本を守る事だと気づかされた。睡眠や手洗いもそうではないだろうか。ニューノーマルとは、子どもの頃の教えを思い出すことから始まるのかもしれない。今回の感染症が近い将来、インフルエンザのように治療薬やワクチンのある一般的な感染症になったとしても、自分や大切な人の健康を守ることに努めたい。

(文・岡本侑子)



有志でアーチェリーのインハイ代替大会を

「SUMMER SHOOT'20」実行委員長

竹倉 寛敦 さん

夏の甲子園やインターハイが次々と中止となるなか、アーチェリーの全国大会を代替 開催で実施しようと立ち上がった「SUMMER SHOOT'20」実行委員会。高校生・ 大学生が活躍できる新たな大会を開催すべく奔走する実行委員長の竹倉寛敦さん にお話をうかがった。 (6月19日収録「コースケ・よーこの不要不急な話」より)

──「SUMMER SHOOT'20」を企画しよ うと思ったきっかけは

竹倉 高校生の全国大会インターハイや大学 生のリーグ戦がコロナの影響で中止になって いるなか、自分自身、中学から大学までアーチェ リーの経験もあり、「何か自分たちにできるこ とはないか」と思ったのがきっかけでした。ま た、イベント企画・制作会社の経営者として はコロナ禍の自粛ダメージは大きく、イベント 業態自体の転換期でもあるとも感じ、新しい ことをしなければという思いもありました。

そんな時に、アーチェリーメーカー Dynasty Archery の加藤健資さんとお話する 機会を得て、ビジネスイベント業務で培ってき たノウハウが、スポーツイベントに応用できる という発想の転換があったんです。

――コロナ禍でのスポーツ大会運営ではどん な懸念点がありますか

竹倉 感染リスクをどう対策していくかも 開催・立案の重要事項です。「SUMMER SHOOT'20」では、政府が発表したイベント の緩和策のステップ1から3までの人数上限の なかでは、200人、1000人、5000人と段階があ りますが、屋外イベントでの上限人数 200名 という一番厳しい人数での開催に標準を合わ せました。現在、各競技団体からガイドライン が出はじめていて、その徹底をしながら計画 しています。課題となるのは運用フローです。

たとえば、受付での滞留時間など、運用フ ローを新しく構築することがポイントで、一番 苦労しています。消毒、参加者の氏名・連絡 先の記入、体温の自己申告、サーモグラフィー によるチェック、検温とコロナ前の通常工程と は異なる新たな工程をふみますし、もし検温 で基準を上回ってしまったときにどう対応する のか、同行者はどうするか、といったさまざま な対応パターンが生まれます。受付のフロー チャートはこれまで QR 読み取り、参加証お 渡し、ガイド等の配布など、3つから4つだっ たものが、倍以上になる想定です。どこまで スマートに構築できるかが、今後のノウハウに なるとも思っています。

――大会の開催に向けては、クラウドファン ディングを活用して学生応援プロジェクトと して広く発信されています

竹倉 アーチェリーの競技人口は全国で1万 人弱なんです。関係者の協力だけで大会を開 催するとどうしても内輪になってしまうと考 え、クラウドファンディングでより多くの方に 参加いただく大会を目指しています。

ただ、クラウドファンディングの立ち上げは 初めての経験で、どうしたら賛同者を集める ことができるのかもわからずにいました。クラ ウドファンディングって協賛を集められるシス テムであって、立ち上げたからといって自然に 集まるものではない、という考え方にシフトし て、まずは存在を知ってもらうためには発信 だ!と、プレスリリースも初めて書きました。

プレスリリースを出すことでメディアの方の 目に留まるかもしれないし、記事になれば一 般の方の認知につながるかもしれない。今回 は運良く NHK はじめ全国紙からも取材を受



チェリー用品メーカー Dynastyの加藤健資さんとの2人体制で「SUMMER SHOOT'20」実行委員長を務 める竹倉寛敦さん。株式会社stand up A guy's代表取締役社長で、普段は主にビジネス系イベントのイベン ト企画・運営を手がけている

け、スポンサー企業には活動の信頼性があが りました。

――これからリアルでのイベント開催は、予 測もむずかしく、見えない未来のなかで判断 が必要です。悩んでいらっしゃる主催者さん にとっても後押しとなるお話でした

竹倉 今回、チャレンジばかりで、アーチェリー 関係者のなかにも大丈夫かと心配されている 方もいるかと思うんですけれど、高校生、大 学生の数年間という貴重な活動期間が大きく 失われてしまったことが本人たちにとって負の 感情として残しておきたくなかったという想い がまずあります。

これからもさまざまな場所で、多くのチャレ ンジがおこなわれていくとは思いますが、初期 に実施したものとして、たとえば、終わったあ とに、今回のノウハウをすべてオープンにして 公開することも考えています。スポーツイベン トだけでなくイベント業界全体でも通じる経験 になると思いますので、安心・安全・快適な 運営で実施し、みんなが楽しめて、思い出に なる、そして次に役立つ大会にしていきたい と思っています。

クラウドファンディング継続中 アーチェリーのインハイ・全国大会が中止! 高校生、大学生が活躍できる大会を作りたい

6月24日時点で、第一弾ゴールの200万円は達成。 現在は大型 LED ビジョン / 簡易 LIVE 配信を含めた 450万円の目標に向け7月いっぱい支援を募っている。 「アーチェリー選手にとって、大型ビジョンはあるだけ でモチベーションがあがるもの。ぜひ一緒に盛り上げて ほしい」と竹倉さんは話す

「SUMMER SHOOT'20」大会概要

開催日:2020年9月26日(土)・27日(日)

場 所:長野県 菅平高原(菅平高原スポーツランド サニアパーク菅平)

参加人数: 高校生 90 名 大学生 60 名







イベントマーケティングのトレンドを テクノロジーの最新情報、 国内外の事例や動向から分析し、 マーケター・イベンターの 皆さんと共有します。

国内・海外ニュース

ツールや 開催直前概況· 事後レポートなどを 紹介します。



幅広い視野と独自の視点、 経験をもつ 著名人が執筆します。

インタビュー リアルコミュニケーションを 楽しくをテーマに 話題の方々ほか、イノベーター、

イベントマーケター、

主催者の声を収録。



効果測定や開催状況の集計、 効果最大化の手法など、 対未取へにくかった。 face to faceを科学する レポートをお届けします。

読者Profile

大手メーカーマーケター



▶年間イベント件数:約20件 デジタルマーケティングと オフラインを組み合わせて 販促とファンづくりに

ミーティングプランナー

▶年間イベント件数:100件超 業界のファーストムーバーとして 異業種のトレンドを知り 講演会に活かしたい

IT 企業向け マーケティングサポーター

▶ 年間イベント件数:約150件 イベントマーケティングに関わる テクノロジーやツールについて 情報収集したい

定期送付申し込み 発行所: 株式会社 MICE 研究所 〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 TEL03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.ip

毎月30日発行